



代議員会糸魚川大会によせて

— 新型コロナウイルス禍を超えて学校運営に取り組む —

新潟県小学校長会長 塚田 賢

令和の時代に入り、元年の後半から新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大し始め、我が国においても政府は緊急事態宣言を発令し、学校においても臨時休校など感染拡大を防ごうと様々な対応策が講じられてまいりました。本会の令和2年度代議員会長岡・三島大会は書面会議を余儀なくされ、さらに1年を経た今日でも、感染症の専門家等から第4波として新型コロナウイルスが猛威を振るっていると連日報道されています。しかも、新型コロナウイルスの変異株は子供にも感染しやすいとの分析もあり、学校等では集団感染を防ぐべく3密の回避やマスクの着用など進めております。

このような現況の中、県内各地から代議員が一堂に会して令和3年度代議員会糸魚川大会を対面方式で開催できるかどうか熟慮いたしました。第1回理事会において初の試みであるオンラインによる代議員会の開催を決定いたしました。これまで幾度となく打合せを重ね、代議員会の開催に向けて入念な企画と実行、渉外等に御尽力くださった糸魚川市小学校長会の皆様の無念さを痛感するとともに、心から感謝を申し上げる次第であります。

こうした新型コロナウイルス禍に直面する今日であっても、新潟県小学校長会は、研究と実践を止めることなく、全会員の総力を結集し、創意と活力にあふれた学校づくりに努めることを改めて強調したいと考えます。中教審答申にある「令和の日本型学校教育」を目指して個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、新学習指導要領の実現につなげることや、働き方改革においては「月45時間、年360時間を超えない」とする上限時間の原則を示し、教職員の心身の健康と資質向上、働きやすい職場環境を目指していくことをしっかりと受け止めなければなりません。とりわけGIGAスクール構想によるデジタル端末の操作や活用法の研修などこれまで以上の時間を費やすことが危惧されていますが、校長のマネジメント力を問われる具体的場面でもあります。

終わりに、本大会の準備を進めてこられました糸魚川市小学校長会の皆様に重ねて感謝と敬意を表すとともに、日頃より御指導いただいている新潟県教育委員会、新潟市教育委員会及び新潟県中学校長会、並びに物心両面から御支援いただいている関係6団体の皆様に衷心より御礼申し上げて挨拶いたします。